

あぶた福祉会

第30回

嶋山由紀夫氏 来訪する

昨年の11月13日に、元内閣総理大臣である嶋山由紀夫衆議院議員が来訪されました。

20年前に一度訪問をした時は、雰囲気が変わり、利用者にとつて暮らしやすい環境となっていること、友愛の精神を大事にしていることから、友愛の里という施設名は心に残るなどの話がありました。また、障害者自立支援法から総合福祉法にな

っていきが、障害者にとつても良いものにしていきたくとも話されていました。利用者の皆



来訪した嶋山由紀夫衆議院議員と
記念撮影する利用者皆さん

さんと15分ほどふれあいをした後、新規ケアホーム『うらら』の見学をし、「新築の建物で高齢者や重度者が暮らしやすい構造になっており、生活している人たちも楽しそうな表情をしている」と話しておりました。滞在時間は一時間程度と短い時間でしたが、大変感動されていました。

(Y・K)

自分たちの力で 形にすること

地域生活者の クリスマス会

昨年の12月23日にホテルロイヤルで、デイセンターあすなろとデイセンターいちばんほし、地域で就労している利用者の合同クリスマス会が行われました。当日は、寒波の襲来でとても寒い日になりましたが、参加者は今年最後の行事であるクリスマス会をとて楽しんでおり、会が始まる前から気分も盛り上がっていました。目の前に並んだ料理はどれも美味しそうで、

ハーフバイキングもあり、美味しい匂いが会場に広がっていき、次々に運ばれてくる料理は種類も多く、思う存分食べ、皆、その美味しさに舌鼓をうっていました。

今年は利用者が参加できる内容を考え、ゲームやカラオケ、余興の出し物など工夫を凝らしました。ゲームは皆で協力しあ

って一つのことを達成できるようなものにしたと考え、穴の開いたピンポン玉3個を串に刺して次の人に渡すリレーゲーム「だんご3競争」をチーム対抗の形で行いました。「だんご3兄弟」の曲に合わせてゲームを進めていったのですが、曲が掛かると次第に盛り上がっていき、熱戦となりました。結構、串を穴に通すことが難しい様子でしたが、チーム一丸となって真剣にゴールを目指して頑張っていました。優勝チームには金メダルが一人一人に渡され、首に金メダルを掛けられると喜びも一層増し、ゲーム大会が終わってからも何度も眺めては嬉しそう

な表情を浮かべていました。

余興は、AKB48のダンス曲に合わせて、5人の男子利用者が踊りました。衣装を身に付け、メイクをし、かつらをつけると、鏡の前で自分の姿を映して、まるでアイドルになったかのよう



ゲームで競い合う利用者

にポーズを決めるなどしていました。コスプレ、ダンスは完璧で、会場で見えていた皆もステージ前まで出てきて鑑賞しており、次回のクリスマス会では自分も踊ってみたいと言う人が大勢居るほどの盛り上がりでした。歌い終えてからは皆と記念撮



AKBに扮した男子利用者

りを覚えて披露したいと意気込んでいました。自分たちで一つのことに向かって協働で行うことの苦労と大切さを感じたのではないかと思います。ちょっとした手助けをすることで、会場の飾り付けの際には利用者それぞれが意見を出し合いながら、クリスマス会らしい装飾ができていました。司会も、職員がある程度原稿を作り、それを基本に自分たちの感じたことなどを言葉で伝えることができていました。皆で笑い、皆で楽しみ、大切な時間を共有できたと思います。行事だけではなく、日常生活の中でも少しの手助けで社会の中で障害のある人達が暮らしている大切さをあらためて感じる事ができたクリスマス会となりました。

(T・N)